

## 日本NCR、小売り店舗のDXを支える NCR コマースプラットフォームを発表

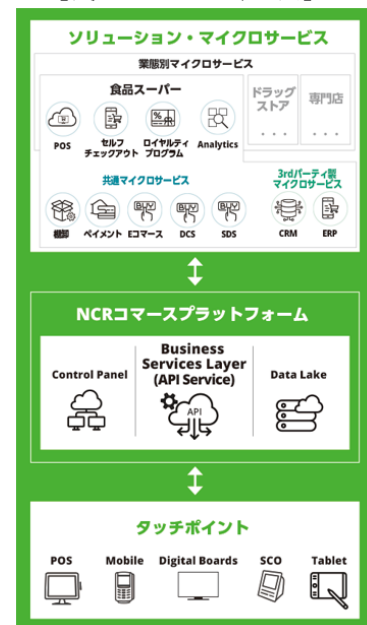
日本NCR株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：小原 琢哉、以下日本NCR）は本日、Run the Store をコンセプトに、次世代店舗を支えるグローバル共通のクラウドサービス体系として『NCR コマースプラットフォーム』を発表しました。同時に、NCR コマースプラットフォームの中核となるAPI サービス（ビジネスサービスレイヤー(BSL)）、とBSLを活用するマイクロサービスの第一弾「店舗情報分析ツール（NCR Analytics）」の販売を開始しました。

NCR コマースプラットフォームは小売企業がデジタルシフトを実現するための必要なタッチポイント、アプリケーション、データを集約したクラウドネイティブな統合プラットフォームです。

NCR コマースプラットフォームの導入により、ビジネスの現場で直接必要となる全ての機能やプロセスはAPI を経由して、容易に導入や組み換えができます。これにより、革新的なサードパーティー製のマイクロサービスを活用した機能拡張や業種・業態に精通したパートナーとのエコシステムの形成で、市場や顧客の変化に迅速に対応することができます。

NCR が持つ世界のベストプラクティスを搭載した NCR コマースプラットフォームで、小売企業のデジタル・トランスフォーメーション実現を支援します。

### 【食品スーパー導入例】



### 【NCR ビジネスサービスレイヤー(BSL)】

販売チャンネル（POS、SCO、E コマース）やバックオフィスから収集したすべてのデータは、クラウドに流れ、共通のプラットフォームで利用・共有されます。これにより、すべてのビジネスデータだけでなく、NCR アナリティクス、コンピュータビジョン、小売業変革コンサルティングサービスなど、このデータを活用して価値を付加するさまざまなプラットフォームアプリケーションやサービスにとって、一元的な情報ソースとなります。これらの情報ソースと店舗システムのシームレスな連携を実現します。

- 販売開始：2022年3月1日
- サービス開始：2022年7月1日
- 販売予定価格：基本料金1,200円/デバイス・月～



### 【店舗情報分析ツール (NCR Analytics)】

NCR Analytics は店舗や従業員のパフォーマンスをリアルタイムに把握し、データに基づいた意思決定を行うことで、店舗運営の管理と最適化を可能にします。小売企業が記述的分析から AI による予測的洞察へと進化するにつれ、その洞察力はさらに強力なものとなり、より優れたビジネス成果をもたらします。

- 販売開始：2022年3月1日
- サービス開始：2022年7月1日
- 販売予定価格：基本料金9,000円/シート・月～

#### 日本NCR株式会社について

日本NCRは、1920年の設立以来、日本初のスーパーマーケット開店の支援、日本初のセルフレジ導入、日本初の金融機関向け税公金セルフ収納機ソリューションの展開等をはじめ、常に時代の先端を行くテクノロジーを駆使し、流通・金融業界に革命をもたらしてきました。日本NCRは、これからも様々な業種において新たな時代のニーズにあったソリューションを提供していくため、世界中とコラボレーションしていきます。

NCRは米国ジョージア州アトランタに本社を置き、約38,000人の社員と共にグローバルにビジネスを展開しています。

※NCRは、NCR Corporationの米国および他の各国における商標または登録商標です。

※NCRは投資家の皆様にNCR Corporationに関する財務情報やその他重要な情報を定期的に更新するウェブサイトを提供するよう奨励しています。

#### ◆本件に関するお問い合わせ先◆

日本NCR株式会社 役員室 広報担当 佐々木 智子

Tel. 03-6759-6000 Fax. 03-3553-1035

e-mail: pr.jp@ncr.com

ホームページ <http://www.ncr.co.jp/>

日本NCR広報窓口 共同ピーアール株式会社

e-mail: ncrpr@kyodo-pr.co.jp

担当/電話 竹村 良子 (080-8870-0347)、児玉 千尋 (070-4303-7256)